

株式会社ヤクルト本社

第61期 株主通信

平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日

掲載内容

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 01 株主の皆さまへ/
連結業績ハイライト | 11 ヤクルトのネットワーク |
| 03 セグメント別業績概況 | 13 商品紹介 |
| 07 連結財務諸表等 | 19 コラム 乳酸菌 シロタ株乳飲料の飲用効果 |
| 09 特集 ヤクルトの国際事業 | 21 会社情報 |



To Our Shareholders

ごあいさつ



代表取締役会長（CEO）

堀 澄也



代表取締役社長（COO）

根岸 孝成

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心に報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成25年6月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

当期について

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界景気の減速に加え、欧州など対外経済環境を巡る不確実性の高さなど、景気の下振れリスクが存在したものの、輸出環境の改善や経済・金融対策の効果などを背景に、景気回復へ向かうことが期待される状況で推移しました。

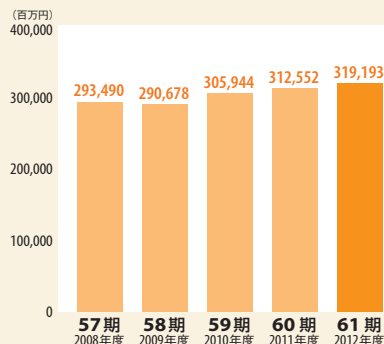
このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してまいりました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

なお、当連結会計年度における乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」をはじめとする乳製品の販売本数は、全世界合計で一日当たり平均3,070万本となり、創業以来初めて、3,000万本を超えることができました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は319,193百万円（前期比2.1%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は23,068百万円（前期比10.8%増）、経常利益は29,424百万円（前期比5.1%増）、当期純利益は16,379百万円（前期比23.2%増）となりました。

連結業績ハイライト

● 売上高



次期について

日本国内における乳製品については、引き続き宅配および店頭の間チャネルで、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」およびビフィズス菌「B. プレーベ・ヤクルト株」の「価値普及」活動の強化と再徹底を図ります。

海外においても、中長期計画「Yakult Vision 2020」のもと、事業展開を行っています。

既存事業所については、さらなる事業の拡大、財務体質の強化および収益性の向上を図ります。また、ベトナム、インド、中国および米国などの新規事業所については、経営基盤

の強化と事業の成長を推進していきます。

医薬品に関しては、がん化学療法剤「エルプラット」の適正使用やXELOX療法を推奨し、市場拡大を図るとともに、がん領域に特化した販売活動に注力していきます。

配当について

当社は、株主の皆さまに、より高いレベルで安定的な配当を実施していくことを最優先とするため、配当金額のベースを年額20円とし、そのうえで、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績等を総合的に勘案して配当金額を決定しています。

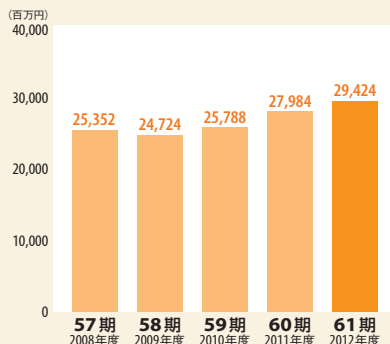
平成25年3月期の年間配当金額は、株主の皆さまへの利益還元を図るため、前期に比べて1株につき1円増配の年額23円としました。また、次期の配当については、上記方針のもと、継続して株主の皆さまへの利益還元を図るため、当期に比べて1株につき1円増配の年額24円を予定しています。

当期

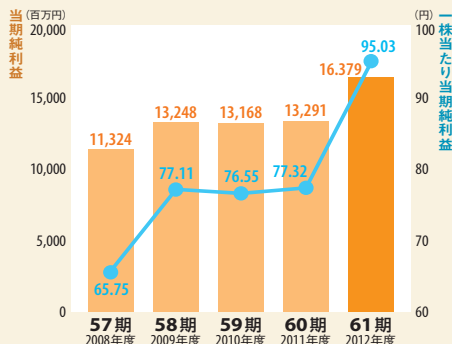
次期の見通し

売上高	319,193 百万円 (前期比 2.1% 増)	355,000 百万円
経常利益	29,424 百万円 (前期比 5.1% 増)	35,000 百万円
当期純利益	16,379 百万円 (前期比 23.2% 増)	20,000 百万円

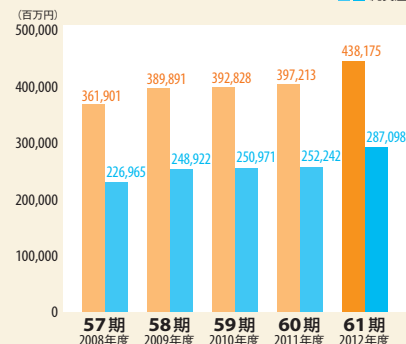
● 経常利益



● 当期純利益／一株当たり当期純利益



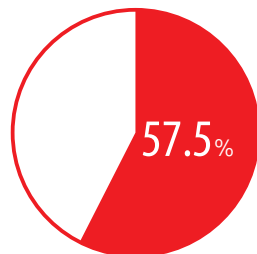
● 総資産／純資産



Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門(日本)



売上高構成比

当期

売上高

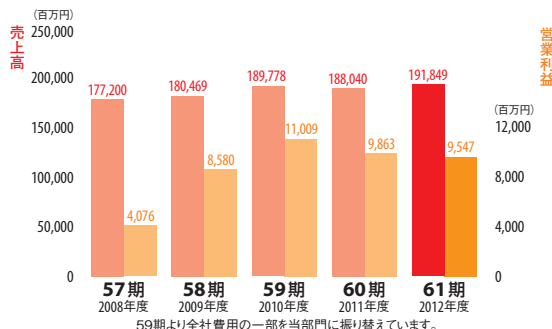
191,849 百万円

(前期比: 2.0% ↑)

営業利益

9,547 百万円

(前期比: 3.2% ↓)



乳製品については、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」およびピフィズ菌「B、プレーベ・ヤクルト株」の「価値普及」活動を展開しました。

宅配チャネルにおいては、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」「ヤクルト400LT」を中心とした飲用体感促進型普及活動の推進に加え、昨年1月にリニューアルした「プレティオ」の継続飲用促進および「乳酸菌 シロタ株」のエビデンス（科学的な根拠）を活用した「価値普及」活動に努めました。

店頭チャネルにおいては、プロモーションスタッフによる「乳酸菌 シロタ株」のエビデンスを活用した「価値普及」活動を展開しました。

商品別では、ロングセラー商品である「ジョア」を重点商品として

位置づけ、昨年6月のデザインリニューアル、「ジョア トロピカルミックス味」などの期間限定商品やシリーズ初の「ジョア」(食べるタイプ)を発売し、年間を通してブランドの活性化と売り上げの増大を図りました。また、ハードタイプヨーグルト「ソファール」は、昨年6月に「ソファール元気ヨーグルト」を、9月には期間限定商品として「ソファールマロン味」を発売するなど、ラインアップの強化を図りました。

ジュース・清涼飲料については、主力ブランドである「タフマン」および「蕃爽麗茶」の消費者キャンペーンを実施し、ブランドの活性化を図りました。また、20代から30代の女性向け新ブランド「三つ星Factory」の第1弾商品として、昨年5月に美容ドリンク「CHOBI(チョビ)」を、首都圏(東京・神奈川・埼玉・千葉)限定で発売し、新たな顧客層の獲得に努めました。

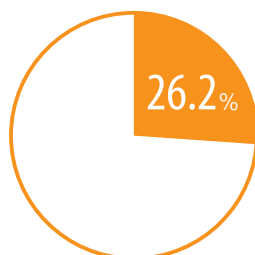
2013
NEWS
&
TOPICS

ヤクルトレディ誕生 50周年

ヤクルトレディによるお届けがスタートして今年で50周年を迎えました。1963年に「家族の健康を守る主婦こそが、ヤクルトをお届けするのにふさわしい」という理由で始めたことがきっかけとなり、手から手へ健康を「真心」込めてお届けするという想いは現在まで引き継がれています。今後も、一人でも多くの方に健康な生活を送っていただけるようヤクルト商品の価値普及に努めていきます。



飲料および食品製造販売事業部門(海外)

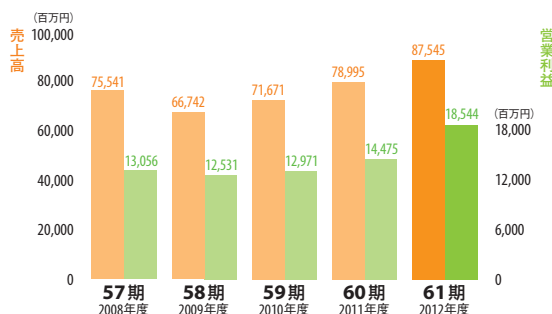


売上高構成比

当期

売上高
87,545 百万円
(前期比: 10.8% ▲)

営業利益
18,544 百万円
(前期比: 28.1% ▲)



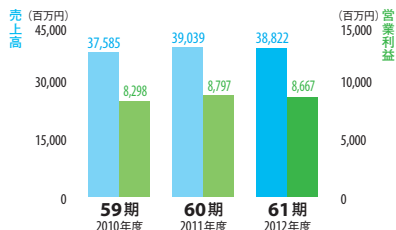
米州地域

売上高 38,822百万円 (前期比: 0.6% ▼)

米州地域においては、ブラジルおよびメキシコで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、米国などでは「ヤクルト」などを輸入販売しています。

米国においては、昨年7月にカロリー低減タイプの「ヤクルトライト」の販売を開始しました。また、当社の「L.カゼイ・シロタ株(乳酸菌 シロタ株)」が、米国・食品医薬品局(FDA)のGRAS(食品安全性に関する審査制度)において、「GRAS物質(米国において一般に安全と認められる食品)」としての認証を取得しました。

米州地域各社における売上高などは、現地通貨ベースでは順調に伸長していますが、円換算ベースでは、円高による為替相場の変動の影響を受けました。



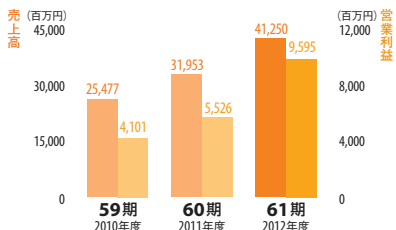
アジア・オセアニア地域

売上高 41,250百万円 (前期比: 29.1% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

中国においては、「ヤクルト」の販売本数の増加が見込まれるため、天津工場(天津ヤクルト株式会社)の生産能力を順次増強しています。また、広東省の広州ヤクルト株式会社においても平成26年春の生産開始に向けて第2工場の建設を進めています。

インドネシアにおいては、好調な販売実績に対応するため、東ジャワ州で第2工場の建設を進めており、本年12月の生産開始を目指しています。

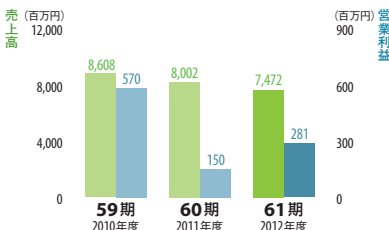


ヨーロッパ地域

売上高 7,472百万円 (前期比: 6.6% ▼)

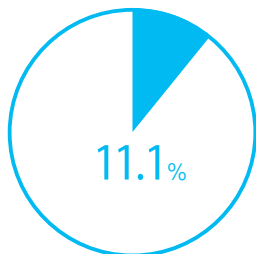
ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

ヨーロッパ地域全体の円換算ベースの売上高などが、円高による為替相場の変動の影響を受けましたが、イタリアやイギリスの販売実績は堅調に推移しています。



Financial Result by Segments

医薬品製造販売事業部門

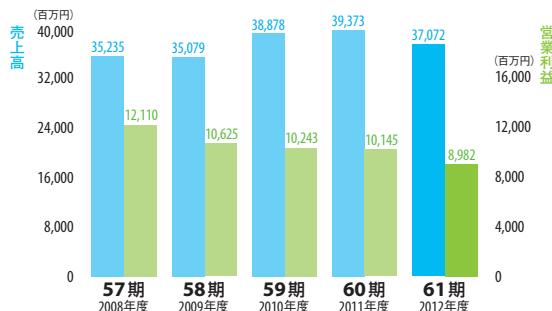


売上高構成比

当期

売上高
37,072 百万円
(前期比: 5.8%↓)

営業利益
8,982 百万円
(前期比: 11.5%↓)



医薬品については、国内において、がん化学療法剤「エルプラット」の適正使用をさらに推進するため、医療関係者を対象とした講演会や医局説明会などを積極的に開催しました。また、XELOXレジメンによる術後補助化学療法（手術後の再発防止のための化学療法）の啓発と浸透を図る活動に邁進しました。また、がん化学療法剤「カンプト」をはじめ、代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタピンヤクルト」、活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」および遺伝子組み換えG-CSF製剤「ノイアップ」のシェアおよび販路拡大に努め、

がん領域に特化した販売活動に力を注ぎ、売り上げの増大を図りました。これらの結果、国内における売り上げは、数量ベースでは伸長しているものの、昨年4月からの薬価改定による影響を受けて、金額ベースでは前期を下回りました。

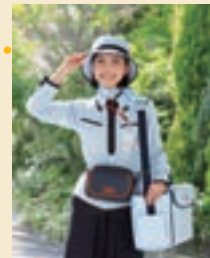
研究開発においては、「カンプト」および「エルプラット」を用いたFOLFIRINOXレジメンの膵臓がんへの適応拡大や、「エルプラット」の胃がんへの効能追加に向け、臨床試験を進めています。また、パイプラインの開発を推進することで、がん領域でさらなる強固な地位の確立を目指します。

2013
NEWS
&
TOPICS

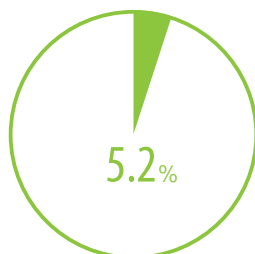


15年ぶりに夏制服をモデルチェンジ

ヤクルトレディ誕生50周年を記念して、15年ぶりにヤクルトレディの夏制服をモデルチェンジしました。新しい夏制服は、先端技術を取り入れた素材を使用し、従来よりも速乾性に優れているため、着用しやすくお手入れも楽になりました。また、ヤクルトレディの魅力をより多くのお客さまに感じていただけるよう、爽やかで若々しいデザインに仕上がっています。



その他事業部門

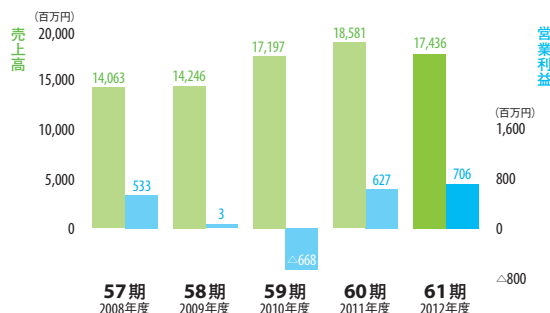


売上高構成比

当期

売上高
17,436 百万円
(前期比：6.2% ↓)

営業利益
706 百万円
(前期比：12.7% ↑)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、基礎化粧品の主力ブランドである「パラビオ」「リベシィ」および「リベシィホワイト」を中心としたカウンセリング型訪問販売活動によるお客さまへの「価値普及」活動を継続して展開しました。

昨年12月には当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究力を活かした「パラビオ」シリーズ最高峰のクリーム「パラビオ

ACクリーム サイ」を発売し、お客さま満足度の向上と実績の拡大を図りました。

一方、プロ野球興行については、東京ヤクルトスワローズがレギュラーシーズンを3位で終了し、前年に続き、クライマックスシリーズ進出を果たしました。また、神宮球場において各種イベントを実施するとともに、積極的なファンサービスや情報発信などを行い、入場者数の増大に努めました。

ヤクルトレディの活動

1 972年より、ヤクルトレディが独り暮らしの高齢者の安否を確認したり、話し相手になることを目的とした「愛の訪問活動」を続けています。全国でおよそ150の自治体から要請を受け、約3,500名のヤクルトレディが約47,000名の高齢者のお宅を訪問しています。2005年からは「『敬老の日』お花プレゼント」も実施しています。また、防犯パトロールなど地域の「安全・安心」強化へのお手伝いもしています。



Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第60期	第61期
	平成24年3月31日現在	平成25年3月31日現在
資産の部		
流動資産	177,594	185,133
固定資産	219,619	253,042
有形固定資産	136,962	150,612
無形固定資産	5,903	6,302
投資その他の資産	76,753	96,127
資産合計	397,213	438,175
負債の部		
流動負債	71,981	121,218
固定負債	72,989	29,858
負債合計	144,970	151,077
純資産の部		
株主資本	274,247	288,006
資本金	31,117	31,117
資本剰余金	41,290	41,507
利益剰余金	210,536	223,040
自己株式	△8,697	△7,658
その他の包括利益累計額	△45,621	△26,163
その他有価証券評価差額金	511	6,471
為替換算調整勘定	△46,132	△32,634
少数株主持分	23,616	25,255
純資産合計	252,242	287,098
負債・純資産合計	397,213	438,175

連結損益計算書

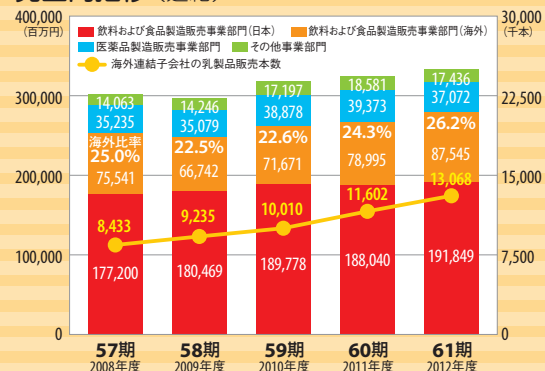
単位：百万円

科目	第60期	第61期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	312,552	319,193
売上原価	142,521	147,544
売上総利益	170,031	171,648
販売費及び一般管理費	149,214	148,580
営業利益	20,817	23,068
営業外収益	8,865	7,841
受取利息	2,436	2,124
受取配当金	655	982
持分法による投資利益	2,529	2,129
その他	3,243	2,603
営業外費用	1,697	1,484
支払利息	695	720
支払手数料	195	183
その他	806	580
経常利益	27,984	29,424
特別利益	2,348	1,420
固定資産売却益	380	869
工場再編損失引当金戻入額	—	112
災害損失引当金戻入額	335	—
社会保険料還付額	1,436	—
その他	195	438
特別損失	4,384	2,907
固定資産売却損	825	173
固定資産除却損	720	763
投資有価証券評価損	1,187	1,086
災害による損失	1,055	—
減損損失	370	450
その他	225	434
税金等調整前当期純利益	25,948	27,937
法人税、住民税及び事業税	6,928	8,018
法人税等調整額	1,640	490
少数株主損益調整前当期純利益	17,379	19,427
少数株主利益	4,087	3,048
当期純利益	13,291	16,379

平成 25 年 3 月期のポイント

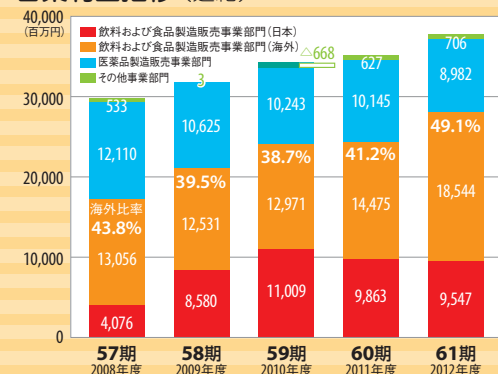
1. 全体の売上高は過去最高を更新し、増収・増益
2. 国内飲料は乳製品の販売本数伸長により増収、兵庫三木工場稼働による償却費増および原料高の影響でわずかに減益
3. 海外飲料はアジア全体の販売本数が大きく伸長し、増収・増益
4. 医薬品はエルプラットを中心に販売数量を伸ばしたものの、薬価改定の影響が大きく、減収・減益

売上高推移 (連結)



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

営業利益推移 (連結)



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	第60期	第61期
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	33,444	42,887
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 28,295	△ 43,550
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,281	384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6,723	7,493
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 10,855	7,214
現金及び現金同等物の期首残高	86,550	75,559
連結範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 172	—
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	36	—
現金及び現金同等物の期末残高	75,559	82,773

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益27,937百万円、減価償却費19,434百万円等により42,887百万円(前期比9,442百万円の収入増)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備の新設および増設による固定資産の取得があったことにより△43,550百万円(前期比15,255百万円の支出増)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金が増加した一方で、リース債務の返済および配当金の支払いがあったこと等により384百万円(前期比9,665百万円の収入増)となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<http://ir.yakult.co.jp/>

ヤクルト IR情報

検索

Yakult & The World!

ヤクルトの国際事業



1964年の海外進出以来、世界の国と地域に広がっています。
本号では、成長著しいアジア市場を紹介します。

アジア地域では、近年、健康に対する意識の高まりなどが追い風となり、乳酸菌飲料市場も急速に拡大しています。今回はアジア地域の中でも特に成長著しい中国とインドネシアに焦点をあて、その製造、販売体制について紹介します。

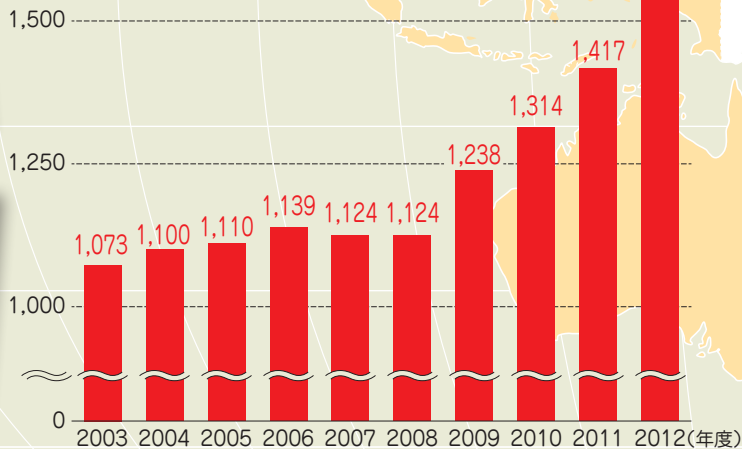
中国における昨年の販売実績は、前年比126%の291万本/日と順調に売り上げを伸ばしていますが、中国

全体の人口比で見ると1%に満たない本数であり、まだまだ拡大の余地がある有望な市場です。

一方インドネシアも、昨年の販売実績は、前年比122%の274万本/日と大きく伸長しており、インドネシアの2億4千万人という人口を考えても、今後十分な成長余力を秘めている国といえます。

●アジアにおけるヤクルトの販売本数の推移

(万本/日)



中国におけるヤクルトの製造・販売体制

中国では、2015年までに27か所の販売拠点を開設するという計画のもと、北京、天津を中心に拡大し、現在24か所の販売拠点を構えています。今後さらなる販売本数の増加が見込まれることから、広州には第2工場を、また、天津工場にも敷地内に第2工場棟の建設を進めています。2014年春より順次生産能力を増強し、事業拡大を図ります。

販売面では内陸部にも販売網を広げるべく、2013年1月、四川省に成都支店を開設、2月には重慶支店、3月には河南省に鄭州支店と相次いで開設し、スーパー等の店頭で「ヤクルト」の販売を開始しました。いずれも今後の発展が期待できる市場であるため、中国内陸部での普及に大きく貢献することが期待されます。



広州ヤクルト 第2工場 (完成予定図)



天津工場の敷地内に第2工場棟を建設 (完成予定図)

インドネシアにおけるヤクルトの製造・販売体制



インドネシアヤクルト スラバヤ工場 (完成予定図)



現在、インドネシアにおける「ヤクルト」の生産はジャカルタ市近郊の工場で行っていますが、今後も販売エリアの拡大によるさらなる需要が見込まれることから、東ジャワ州に第2工場となるスラバヤ工場（仮称）の建設を進め、2013年12月の生産開始を目指しています。東西1,000kmに渡るジャワ島の東側に第2工場を新設することで、西側に位置する第1工場と物流面において高い補完性が確保できるようになります。

Globalizing the Yakult Network

現在、日本を含む32の国と地域で、
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており、
世界中で毎日約3,000万人を超える方々にご愛飲いただいています。

【ヤクルトの売上本数】



海外：2012年1月～12月の1日当たり平均本数
日本：2012年4月～2013年3月の1日当たり平均本数

EUROPE

- ▶ 国と地域：11 
▶ 1日当たりの販売本数：68万本

ヨーロッパ地域

- フランス
- スペイン
- オランダ
- ベルギー
- ルクセンブルク
- イギリス
- アイルランド
- ドイツ
- オーストリア
- イタリア
- マルタ共和国

THE AMERICAS

- ▶ 国と地域：6 
▶ 1日当たりの販売本数：536万本

米州地域

- ブラジル
- ウルグアイ
- メキシコ
- ベリーズ
- アメリカ
- カナダ

JAPAN

- ▶ 1日当たりの販売本数：888万本



ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

- ▶ 国と地域：14
▶ 1日当たりの販売本数：1,578万本

- 台湾
- 香港
- タイ
- 韓国
- フィリピン
- シンガポール
- ブルネイ
- インドネシア
- オーストラリア
- ニューージーランド
- マレーシア
- ベトナム
- インド
- 中国



株式会社ヤクルト本社



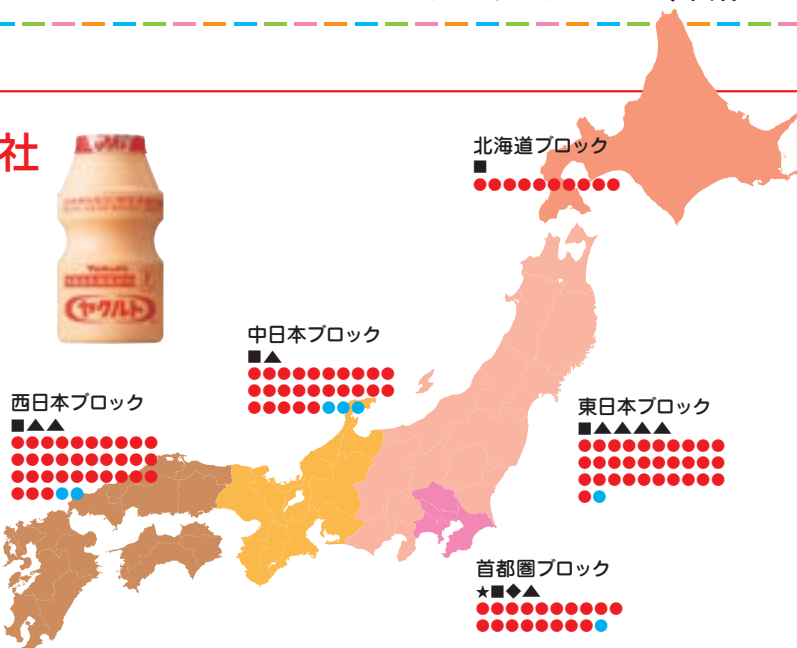
ヤクルト本社

★本店：1 ■支店：5
◆研究所：1 ▲工場：8

●販売会社117社
（うち連結子会社26社）

●ボトリング会社7社（連結子会社）

ヤクルトレディ 約39,924人
ヤクルトビューティ 約6,400人



【日本国内の連結子会社】

- 株式会社ヤクルトアセットマネジメント
- 株式会社岩手ヤクルト工場
- 株式会社千葉ヤクルト工場
- 株式会社愛知ヤクルト工場
- 株式会社大阪ヤクルト工場
- 株式会社神戸ヤクルト工場
- 株式会社岡山和気ヤクルト工場
- 株式会社福岡ヤクルト工場
- ヤクルト商事株式会社
- 株式会社ヤクルトマテリアル
- 株式会社ヤクルト球団
- ヤクルト食品工業株式会社
- 株式会社麺物語本舗
- ヤクルト薬品工業株式会社
- 株式会社ワイ・ピー・シー
- ヤクルトヘルスフーズ株式会社
- ヤクルトサポートビジネス株式会社
- 株式会社ヤクルトライフサービス
- 株式会社ホテルサン沖縄
- 株式会社ヤクルト・マネジメント・サービス
- 有限会社広島保険サービスセンター
- 株式会社はこだてわいん
- 駒ヶ岳酒造販売株式会社
- ヤクルトイースト・ロジスティクス株式会社
- ヤクルトウエスト・ロジスティクス株式会社
- 南北海道ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北海道
- 稚内ヤクルト販売株式会社
- 大船渡ヤクルト販売株式会社
- 宮城中央ヤクルト販売株式会社
- 埼玉西ヤクルト販売株式会社
- 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 東京ヤクルト販売株式会社
- 北信ヤクルト販売株式会社
- 新潟ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト東海
- 岐阜ヤクルト販売株式会社
- 高山ヤクルト販売株式会社
- 名古屋ヤクルト販売株式会社
- 愛知中央ヤクルト販売株式会社
- 三重ヤクルト販売株式会社
- 近畿中央ヤクルト販売株式会社
- 和歌山ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北陸
- 福井ヤクルト販売株式会社
- 山陰中央ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト山陽
- 新広島ヤクルト販売株式会社
- 山口ヤクルト販売株式会社
- 中央福岡ヤクルト販売株式会社
- 沖縄ヤクルト株式会社

Product Lineup

ヤクルト類（乳酸菌飲料）



▲ヤクルト



▲ヤクルト
カロリーハーフ



▲ヤクルト400



▲ヤクルト400LT



▲ヤクルト Ace



▲ヤクルト SHEs
(シーズ)

その他の乳製品



◀ミルミル

生きて大腸にとく
ピフィズ菌を、1
本(100mlあたり)
に100億個以上含
んだ、飲むヨーグル
トです。飲みやす
いミルク風味に仕
上げています。



◀ミルミルS

生きて大腸にとくピフィズ
菌を1本(100mlあたり)に
100億個以上含んだ、飲むヨー
グルトです。ガラクトオリゴ糖、
食物繊維、鉄、葉酸、コラーゲ
ンなどが摂取できます。すっき
りとしたヨーグルト風味です。

▼ジョア

(プレーン、ストロベリー、ブルーベリー、白ぶどう)
腸内で有用な働きをする乳酸菌 シロタ株が入った、飲
むヨーグルトです。



◀BF-1

ストレス社会で生きる、現代人
のために開発した、ピフィズ菌
(B.ピフィダム BF-1株)を使
用した、乳製品乳酸菌飲料です。

▶プレティオ

血圧降下作用を有するGABA(γ-
アミノ酪酸)を1本に10mg以上
含む、血圧が高めの方におすすめ
の乳製品乳酸菌飲料です。



▼乳酸菌ソイα (地域限定発売)



▶ジョア (食べるタイプ) (アロエ、ブルーベリー)



▼ソファール (プレーン、ストロベリー、LT、元気ヨーグルト)



ジュース・清涼飲料

健康機能性食品



◀ 蕃爽麗茶
◀ 蕃爽麗茶
香ばし風味

グアバ葉ポリフェノールの働きで、糖の吸収をおだやかにするので、食後の血糖値が気になる方に適した健康茶飲料です。

▼ アヤムラサキ



▼ 爽涼健茶



▲ タフマンシリーズ
(タフマン、タフマンV、タフマンスーパー)



◀ 黒酢ドリンク

純米熟成黒酢を使用、はちみつとうめ果汁を組み合わせた、飲みやすいピネガードリンク。

紫の
おいしいお酢▶



▲ オリゴ糖入り
梅ドリンク

▼ ぎゅっと健康シリーズ

(カシス、グルコサミン、コエンザイムQ10、紫蘇)



(期間限定)

▼ ミルージュシリーズ

(Ca プラス、ソーダ、Ca125)



▼ ラックミーシリーズ

(調製豆乳、コーヒー、バナナ)



▲ 調製豆乳
国産大豆使用

レモリア▶

テアニン(緑茶の旨味成分)を含み、レモン果汁と7種のハーブエキスが程良く調和したリラックス飲料です。



Product Lineup

ジュース・清涼飲料

ソフト飲料



▲お茶



▲珈琲たいむシリーズ
(ミディアム、カフェラテ、ブラック)



▲マイルドシリーズ
(カフェ・オ・レ、いちご・オ・レ)



▲ココア
(季節限定)



▲コーン
ポタージュ
(季節限定)

▼きになる野菜シリーズ (緑黄色野菜ミックス、紫野菜ミックス、手軽に野菜1日分、パインキャロット、ホワイトグレープキャベツ)



▼野菜ジュース
野菜ジュース(食塩無添加)



▲トマトジュース
(期間限定)

▼CHOBI (チョコビ)



完熟王林▶
(期間限定)

◀(左から)
みかん・オレンジ
ミックスジュース
アップルジュース
パイナップルジュース
グレープフルーツ
ジュース



▲ホットゆず&
日向夏
(季節限定)



▲さっぱりシリーズ
(りんご、オレンジ、ピーチ)

健康食品



▲毎日うれしい
ケールの青汁



▲ごくごく飲める
大麦若葉

▼ローヤルゼリー



▲マイタイム

▼サブリズムシリーズ

(コラーゲン、PS、フコイダン、ブルーベリー、グルコサミン、マルチビタミン&ミネラル)



めん類

▼麺許皆伝シリーズ

(しょうゆ味、みそ味、しお味、ソース焼そば)



▼神崎めんシリーズ

(そうめん、ひやむぎ、中めん、うどん、そば)



▼手延そうめん



Product Lineup

医薬品（医療用医薬品）

医療用医薬品



その他医薬品

ヤクルトBL 整腸薬シリーズ



▲ヤクルトBL 整腸薬S錠



▲ヤクルトBL 整腸薬



▲アロエ便秘薬



▲アイのチカラ

化粧品

スキンケア



▲パラビオ



▲リベシホワイト



▲リベシ



ラクトデュウ
S.E.ローション▶



▼ラクトデュウ
S.E. ヒアルロンジェル



エジティックス▶
モイストリペア
エッセンス



メイクアップ



◀パラビオ

▼グランティア EX



▲ヤクルト ビューティエンス
プリリアント～ザクリーム～



◀パラビオ
ACクリーム
サイ

ボディケア

POSHMAMA
シリーズ

(左)薬用ハンドクリーム▶
(右)さらさらサンスクリーン®



乳酸菌 シロタ株乳飲料の飲用効果



これまで、乳酸菌 シロタ株乳飲料を継続飲用することによる健康面での効果が多数報告されています。今回は、スポーツ選手の風邪予防、高齢者の健康管理に関する2つの研究成果を紹介します。

乳酸菌 シロタ株乳飲料の継続飲用でスポーツ選手の風邪を予防

スポーツ選手という風邪とは無縁のイメージがありますが、ハードなトレーニングや競技会、試合前のストレスなどから免疫力の低下を招き、風邪をひきやすいといわれています。スポーツ選手がよいコンディションを維持するには、風邪をいかにして防ぐかが重要です。

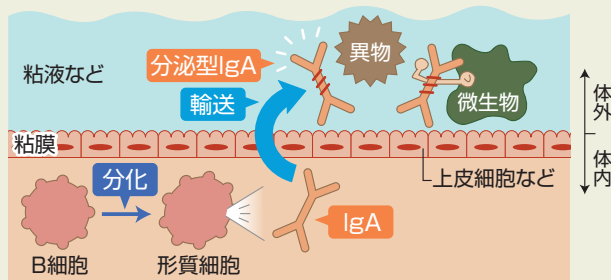
そこで、イギリス ラフバラ大学において、同大学の自転車部、トライアスロン部、陸上部（中長距離走）、水泳部等に所属する運動選手など、免疫機能が低下して風邪発症の原因となるウイルスや細菌の感染リスクが高まる傾向の強い持久系スポーツ選手（84名）を対象に、乳酸菌 シロタ株乳飲料の飲用試験を実施しました。

本飲用試験では、被験者を無作為に2群に分け、それぞれに乳酸菌 シロタ株乳飲料（1本あたり65億個の乳酸菌 シロタ株を含有）またはプラセボ^(※)飲料を1日2本、16週間飲用させ、風邪の発症率や免疫パラメーターに対する影響を調べました。その結果、風邪の症状が1週間以上認められた被験者の割合は、プラセボ飲用群に比べて、乳酸菌 シロタ株乳飲料飲用群の方が少ない結果となりました（プラセボ飲用群:90%、乳酸菌 シロタ株乳飲料飲用群:66%）。この効果の要因のひとつ

として、唾液や気道粘液に含まれ、ウイルスなどの感染を防ぐために重要な役割を果たすIgA抗体の量が、乳酸菌 シロタ株乳飲料の継続飲用により、良好な状態に保たれたことに起因したと考えられます。

(※) プラセボとは、味や外見は同じで、試験成分を含まないものことです。本物とプラセボの2つのグループを比べることによって、効果の程度を科学的に検定できます。

● IgA抗体とは



細菌やウイルスなどの抗原が体内に侵入すると、これに特異的に反応するリンパ球の一種であるB細胞が活性化して増殖、形質細胞に分化し、抗体が大量に産生されます。産生された抗体は血液、リンパ液、分泌液などによって各部位へ分布し、異物を排除します。

抗体にはIgM、IgG、IgA、IgD、IgEの5種類がありますが、最も多く産生される抗体はIgAで、鼻汁、唾液、気道粘膜、消化管粘膜などへ分泌されます。また、IgA抗体は母乳にも多く含まれており、乳児を病原体の感染から守ってくれています。

高齢者施設入所者の健康管理における 乳酸菌 シロタ株乳飲料の飲用の意義

高齢になると、腸の機能の衰えなどから便秘に問題を抱えることが多くなります。便秘状態が長く続くと、腸内細菌のバランスが乱れ、有害菌の増加を招いてしまいます。またそのことが感染症を誘発しやすくなるともいわれていることから、抵抗力の弱い高齢者が集団生活をする施設では、入所者の便秘にも注意する必要があります。

そこで、長期療養型病院の入所者42名（平均年齢82歳）を対象に乳酸菌 シロタ株乳飲料の継続飲用による健康状態への影響を検証しました。被験者には、2006年12月から2007年5月までの6か月の間、乳酸菌 シロタ株乳飲料を1日1本ずつ飲用してもらい、その間の健康状態を毎日記録しました。便性（便秘回数・下痢日数^{*1}）について調べたところ、乳酸菌 シロタ株乳飲料飲用前の便秘回数と下痢日数は、それぞれ0.50回/週/人、0.31日/週/人でしたが、乳酸菌 シロタ株乳飲料の飲用6か月後には、便秘は0.32回/週/人、下痢は0.16日/週/人となり、いずれも乳酸菌 シロタ株乳飲料の飲用によって改善されました。

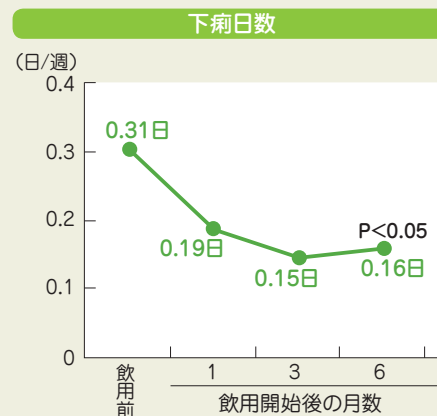
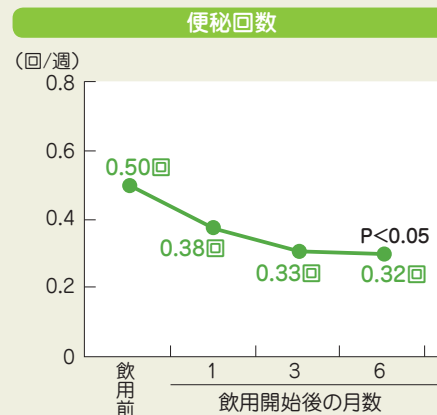
また、腸内環境を示す指標として便中の有機酸量とpH値^{*2}を測定したところ、乳酸菌 シロタ株乳飲料の飲用によって、腸内の主要な有機酸である酢酸量の増加が認められ、それに伴ってpH値も低下し、腸内環境が良好になっている事が分かりました。

以上の結果から、乳酸菌 シロタ株乳飲料を継続して飲用してもらうことは、高齢者の健康管理にとって有効な手段のひとつといえます。

※1 便秘は連続した3日間便秘がなかった時を1回、下痢は1日に3回以上水様便があった時を1日としました。

※2 pH値とは、物質の酸性、アルカリ性の度合いを表す数値のことです。

● 乳酸菌 シロタ株乳飲料の 飲用による便秘への影響



Information

会社概要

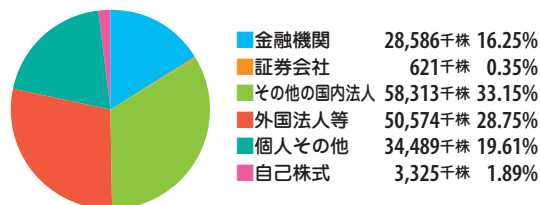
商号 株式会社ヤクルト本社
(YAKULT HONSHA CO.,LTD.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574) 8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,978人

(注)上記従業員数には、関係会社等への出向者282人および嘱託159人を含んでいます。

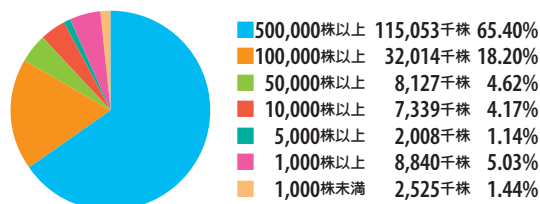
株式の状況

発行可能株式総数……………700,000,000株
発行済株式総数……………175,910,218株
株主数……………23,342名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員 (平成25年6月25日現在)

代表取締役会長	堀 澄也	取締役	安田 隆二	常勤監査役	阿部 晃範
代表取締役社長	根岸 孝成	取締役	福岡 政行	常勤監査役	山上 博資
取締役	川端 美博	取締役	クリスチャンノイ	監査役	奥平 哲彦
取締役	甲斐 千束	取締役	レオナルドホスレイ	監査役	角屋 良平
取締役	根岸 正広	取締役	大関 康男	監査役	谷川 清十郎
取締役	阪本 重善	取締役	山本 公総	監査役	小林 節子
取締役	成田 裕	取締役	松園 直史	監査役	吉田 宏一
取締役	リチャードホール				

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
パークレイズバンクピーエルシー シンガポール ノミニエ ダノン プロバイオティクス プライベート リミテッド	29,930	17.01
松尚株式会社	11,530	6.55
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.69
エムエルピーエフエス ノミニエ・ダノン アジア ホールディングス プライベート リミテッド	5,282	3.00
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.82
共進会	4,358	2.48
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505041	4,146	2.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,575	1.46
麒麟ビバレッジ株式会社	2,458	1.40
株式会社みずほ銀行	2,186	1.24

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売社を会員とする持株会社です。
上表のほか、当社は自己株式3,325千株を保有しています。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、環境対策などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供 ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年未満)

- 当社商品3品(「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を1品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

- 当社商品3品(「化粧品」「乾めん詰め合わせ」「ジュース詰め合わせ」のうちお好きな商品を2品進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

※発送は7月下旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で開催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 対戦するセ・リーグ5チームにつき2試合ずつ計10試合プラス交流試合2試合で計12試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

毎年9月30日現在で100～999株所有の株主の皆さま

- 年間2試合まで。1試合につき外野自由席の入場券2枚まで引き換え可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
公告掲載方法	電子公告 http://www.yakult.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
(郵便物送付先) 連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

株式に関するお手続きについて 株券電子化にとまなない、現在の各種手続きのお申し出先は次のとおりとなっております。

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社に
お申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。



Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード 2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960(大代表) <http://www.yakult.co.jp/>